

コシガヤホシクサシンポジウム

～茨城の水辺から発信する植物保全～

茨城県下妻市の砂沼には、世界でここにしか生育していないコシガヤホシクサという植物が見られましたが、1994年に野生から絶滅してしまいました。

その中で、栽培保存されていたコシガヤホシクサを野生に帰すためのプロジェクトが2008年に始まり、2012年秋にはコシガヤホシクサが自力で子孫を残し、次の世代が花をつけました。国内で初めての挑戦は、着実に成功に近づいています。

このシンポジウムは、茨城県の水辺で行われている先駆的事例から、我が国の植物の保全を考える場とします。

どなたでも参加できますので一緒に植物の未来を考えてみませんか。

講演

1. 「コシガヤホシクサを守ることの意味 ～絶滅危惧種保全戦略の中で～」
浪花伸和 環境省自然環境局野生生物課
2. 「いばらきの水辺の植物は今」
小幡和男 ミュージアムパーク茨城県自然博物館
3. 「コシガヤホシクサ野生復帰プロジェクトー5年間の軌跡ー」
田中法生 国立科学博物館筑波実験植物園
4. 「砂沼の水は冷たかった ～コシガヤホシクサ保全日記～」
永田 翔 NPO 法人アクアキャンプ
5. 「市民と進める植物の保全」
倉重祐二 新潟県立植物園

ポスター展示

NPO法人アクアキャンプ・認定NPO法人アサザ基金・茨城生物の会・認定NPO法人穴塚の自然と歴史の会
自然友の会・菅生沼に親しむ会・NPO法人つくば環境フォーラム
筑波大学大学院森林生態環境学研究室・越谷市立中央中学校 生物部・千葉県立東葛飾高校 生物部

開催日：2013年2月17日(日)*入場無料

開催時間：13時30分～16時30分(開場：12時)

場所：下妻市下妻公民館 2階大会議室
(茨城県下妻市本城町 3-36)

●シンポジウムWEB:aquacamp.jp ●webマップ t.co/HzudfY0T ●お問い合わせ info@aquacamp.jp

共同主催：国立科学博物館筑波実験植物園 NPO法人アクアキャンプ 協力：ミュージアムパーク茨城県自然博物館・下妻市